

山行報告

師走の雄岡山、雌岡山へ

日時：12月16日 リーダ：砂川 参加者数：17名

12月16日、高御位山遊会の今年最後の山行で、神戸市西区にある雄岡山・雌岡山へ行く。高砂総合運動公園から30分ほどで雄岡山と雌岡山のちょうど中間くらいにある金棒池の駐車場へ、ここで全員集合、参加者は17名、まず雄岡山へ向かう。

私はこの山のある地域のことは全く何も知らず、加古川の山だと思っていたので神戸の山だと知ってびっくり、後で調べると神出村は昭和22年に垂水区に編入され、昭和57年に分離され西区になったとある。神戸市の農家戸数のほとんどが西区と北区にあるそうで山の上から見ると新興団地やマンションも見えるがちょっと離れると全くの田舎の風景、それに今日の山は落葉を踏んでの低山歩きでいやされる一日。

40分近く歩いて雄岡山、雨乞い岩や帝釈天を祭った祠を見てすぐに山頂、展望を楽しんでカサカサと落葉の音を聞きながらゆるやかに下る、下りきった五百蔵公園で休憩。

この五百蔵=いおろい、もそうだがこの近くには志染=しじみ、勝成=よしなり、など他所の者には読みづらい地名がいくつもある。五百蔵公園からしばらくは田園のなかを歩く。

今日の山行目的は「播州の歴史ある山を歩く」なので、土地にまつわる話を聞いたり、公園の案内板を読んだりしながらのんびりと一時間ほど歩いて昼食をとる楽農レストラン「かんでかんで」につく。レストランの名前は地名の「神出」をとってのものだが、その「神出」の由来は、後で登った雌岡山上の神出神社の縁起を読んで知ったのだが、この山に降臨した“すさのおのみこと”と“くしなだひめのみこと”の間にたくさんの子供が生まれた、神の子は神なので、多くの神が出た地で「神出」となったとあった。

そうこうして20分ほどたって昼食、野のバイキング、70分食べ放題、思い思いとり分ける。肉も魚も全然ないのは物足り思いながらも何度もとりわけ腹一杯。この後登った雌岡山のゆるやかな登りで腹で苦しかったのは私だけだったろうか？

「かんでかんで」から雌岡山頂までは2ど、ここも落葉の音を聞きながらの登り、神出神社は立派な社、社の前で記念撮影。雌岡山は古くから自然信仰の対象とされたうで、山頂からちょっと下がったところに社と姫石神社がある。

二人の神様から多くの子供が生まれたといからか、その昔は多くの女性が祈願に訪れたこと。

舗装された広い道を下って駐車場に着いたのは14時45分。朝行ったおなじ道を10分ほど歩いて行然庵へ行く。行然庵とはお寺かと思ったがなんと酒屋。二階へ上げてもらっておいしい酒を試飲させてもらってこだわりの米、こだわりの酒の話を聞く。ここの主人は米から自分で作るこだわりの酒屋さん。聞いた話はなるほどと思ったが、残念ながら私は酒のちがいや味はわからずなんでもおいしいと思う人間なので「ご主人、ごめんなさい」。

行然庵でお酒やお米などお土産を買って帰路につく。天気も時々冷たい風が吹いたり、しぐれたりすることがあったが歩くにはなんのさしさわりもなかったし、師走の一日を楽しく過ごさせてもらった。

上田

雄岡山・雌岡山行動記録

場 所	着	発
高砂運動公園		9:00
金棒池駐車場	9:40	10:00
雄岡山頂上	10:35	10:45
五百蔵公園	10:55	11:05
楽農レストラン	11:50	13:40
雌岡山山頂	14:00	14:10
金棒池駐車場	14:45	15:00
行然庵（休憩）	15:10	16:00
高砂運動公園	16:40	



菜料理
に皿に
ないと

が重く

0分ほ
山頂の
雄岡山、
山だそ
裸石神

うこと
たとの

新春トレーニングに参加して（高御位～桶居山縦走周回）

日時：1月3日 リーダー：今山 参加者数：17名

河合

平成20年1月3日、高御位長尾登山口下の新池駐車場に9:00集合、舩賀さんの号令で17名がストレッチ運動をして体をほぐす。いざ出発、青空で風も無く穏やかな登山日和。いつもの第一休憩場所（鉄塔）には大勢の家族連れが居て新春登山の雰囲気満ちていた。三歳位の男の児が父親に手を繋いで貰い、後から登るおじいちゃんを気遣って声を掛けている光景が微笑ましかった。

山頂の神社にお参りをし高御位縦走コースを歩く、分岐点で桶居山へ向かう、丁度、1年振りである。昨年歩いた時のことを思い出す。これから先も起伏と距離があり、かなりしんどかった事を・・・桶居山の呼び方がおけいやまかおけすけやまか昨年同様に話題になりました。山の本「岳人」にはおけすけやまで紹介されていたとのこと、又姫路市の広報でもおけすけやまと掲載されていたとこのことで私の中ではおけすけやまで納得しました。

すすきが枯れている鉄塔の下で小休止、ザックをまとめて置いて身軽になって桶居山に向かう。緑の草木が殆ど無い岩と砂地の山で、かなりの勾配である、登りはまだしも下りは神経を使った。離れてみると三角錐の姿の良い山である。ザックを置いた所まで戻り弁当を開く、正月のおせち料理と違い梅干のおにぎりが山では美味しい。

桶居山を南から遠望すると急な岩の斜面でこちらからは登れる山では無いことが分かった。桶居山から離れ平地まで下り、ため池の堤防を回り祠の裏より再び山

新春トレーニング山行			
場所	着	発	メモ
長尾新池駐車場	9:00	9:05	ストレッチ
中間鉄塔（A）	9:25	9:30	休憩
高御位神社	9:50	10:00	"
桶居山分岐	10:42	10:55	"
中間鉄塔（B）	11:40	11:50	"
桶居山頂上	12:10	12:15	三角点
中間鉄塔（B）	12:38	13:10	昼食
池の側	13:55	14:00	休憩
百間岩下展望台	15:00	15:10	"
新池駐車場	15:30		解散



に入る、アップ・ダウンを繰り返しながら高御位縦走路に戻った、後は百間岩をうまく下りることである、岩山を歩くトレーニングとして格好の場である。大瀬さんが私の前を歩いていてコース取りとバランスの良い歩きをされていた、その後を歩き参考にさせていただきました。

鹿島神社に下りてくると、境内は老若男女の初詣の人波でいっぱいでした。車で来た参詣の人は渋滞の長い列の中で忍耐の時間を過ごしたことでしょう。出発の新池駐車場に戻ってストレッチの後解散したのが15:30頃でした。渡邊さんが調べた高低差は延で950メートル程と教えて下さいました。

今回は2回目でコースも少し覚えていたので、昨年よりは少し楽に歩けたと思います。Lの今山さん

S Lの舩賀さん・待場さん・メンバーの皆さん清々しい初汗を有難うございました。